

駅前仏教講座

第1回 仏教からみる「原発問題」 ～いのちを奪う原発～

講師 長田浩昭さん(真宗大谷派僧侶)



現在、兵庫県篠山市在住、真宗大谷派法傳寺住職。
石川県珠洲市に生まれ、珠洲原発建設計画に伴い、
仏教者として反対運動を起こす。1993年高速増殖炉
「もんじゅ」の初臨界を契機に結成された「原子力
行政を問い直す宗教者の会」事務局を歴任。
3・11原発事故以降、福島県に赴き、子どもたちを避
難させる活動を展開。全国各地で原発が持つ問題
を提起して講演を行う。

参加費無料
定員80名

2011.12.21 (WED)
PM 6:30 ~ 8:30

サンスクエア堺 (A棟・第1研修室)

堺市堺区田出井町2-1 TEL072-222-3561
* JR阪和線「堺市駅」より西へ300m



原発問題は電力でもエネルギーの問題でもありません。被曝の問題です。「いのち」の尊厳の問題です。原子力発電所には開設以来45万人を超える被曝労働者が従事したと言われていいます。そして、福島原発事故では広範囲にわたり放射能による被曝を余儀なくされています。

被曝労働者の犠牲の上に成り立っている原発とは何であるのか、一度事故を起こしてしまえば飛散する放射能に苦しめられなければならない原発とは何であるのか。原発の電力によって得られた私たちの豊かな生活が、何を奪うことによって成り立ってきたのか、そのことを仏教の視点から見つめ直し、問いを共有できることを願いとして講座を開催します。是非、ご聴講ください。

* 今回の講演は、スライドを使用してスクリーンに投影して行います。

【駅前仏教講座】

仏教の教えを通して現代の課題をテーマに、
どなたでもお気軽にご参加いただけるよう、
会場を市民施設等にて行う講座です。

駅前仏教講座 仏教からみる
ブログ公開中
<http://civillite.blog118.fc2.com/>



主催 真宗大谷派(東本願寺) 大阪教区第21組教化委員会